

理事選挙立候補ポスター

日本製鉄（株）東日本製鉄所 統括産業医

（君津地区総括産業医、直江津地区総括産業医）

宮 本 俊 明



【選挙公約】

日本の産業保健の向上のため、産業現場と研究をつなぎ新たなエビデンスの創出に努め、産業保健活動の実践を通じて、働く人の幸せと企業等の日本社会発展に寄与してまいります。これまで同様に、後進の育成にも努めます。この2年間では【職域のための新型コロナウイルス感染症対策ガイド】第6版、産業医部会から【化学物質リスクアセスメントに基づく健康診断の考え方に関する手引き】の起草主査と発出主導、政策法制度委員会から【提言：産業保健サービスを小規模事業場（従業員数50人未満）へ提供するために】の起草参画、**第34回日本産業衛生学会全国協議会の企画運営委員長**など、産業現場での対応力の向上のために尽くしてきました。今後は産業医部会長として産業医制度や産業医部会の発展と多職種連携、化学物質対策や過労死等防止対策および治療と仕事の両立支援など、国の委員会で携わった内容にも学会の思いを繋げて実践に結びつけるようにするほか、四部会の連携強化、生涯教育委員会でGPS発掘と展開、政策法制度委員会を通じた小規模事業場への産業保健の展開の模索、学会100周年記念事業の検討など、理事として日本産業衛生学会の事業実施と人材育成を通じた学会発展に尽力してまいります。

学歴； 1990年3月 産業医科大学医学部卒業 2008年3月 医学博士取得（千葉大学）

職歴； 1990年4月 新日本製鉄株式会社（現日本製鉄株式会社）入社

1990年7月 千葉労災病院に研修派遣

1993年7月～君津製鉄所（現東日本製鉄所君津地区） 産業医選任 事業場名変更あり現在に至る

日本産業衛生学会での最近の活動

理事（2011年度～；これまで生涯教育委員会担当、経理担当業務執行理事、研究会担当、COI担当、COVID-19担当、学会100周年事業担当、政策法制度委員会担当、を歴任）

産業医部会 幹事（2008年度～）・副部会長（2013年度～2020年度）、部会長（2021年度～）

その他の学会活動、主な社外活動等

産業医科大学 産業衛生教授、 帝京大学大学院非常勤講師、 日本産業ストレス学会理事、 日本産業精神保健学会評議員、 産業医学推進研究会名誉会長、 千葉県産業衛生協議会会長、 君津地域職域連携推進協議会会長、 千葉産業保健総合支援センター運営協議会委員、 千葉県医師会産業保健委員会委員、 君津木更津医師会産業保健委員長、 ほか

厚生労働省委託【**化学物質の健康診断に関する専門委員会**】委員 2008～2021年度

厚生労働省【**過労死等防止対策推進協議会**】委員 2014年度～2024年度

厚生労働省委託【**治療と職業生活の両立の支援対策事業ガイドライン作成委員会**】委員 2019年度～

厚生労働省【**化学物質管理に係る専門家検討会**】委員 2022年度～

厚生労働省【**労働安全衛生法に基づく一般健康診断の検査項目等に関する検討会**】委員 2023年度～

主な著書

「産業医の職務Q&A」（分担執筆）、産業医学振興財団

「職場巡視ストラテジー」（監修・分担執筆）、バイオコミュニケーションズ

「災害産業保健入門」（分担執筆）、労働調査会

「産業医の手引」（分担執筆）、東京都医師会

「産業医ガイド」（分担執筆）、日本醫事新報社

「産業保健マニュアル」（分担執筆）、南山堂

「職域のための新型コロナウイルス感染症対策ガイド」（共編著）、渡航医学会・産業衛生学会

「製造業における新型コロナウイルス感染予防・対策マニュアル」（責任者・分担執筆）

受賞等

- 平成17年度 第7回土屋健三郎記念産業医学推進賞（NPO健康開発科学研究会）
- 平成19年度 日本産業衛生学会奨励賞（日本産業衛生学会）
- 平成25年度 緑十字賞（中央労働災害防止協会）